



上関町の推進構想

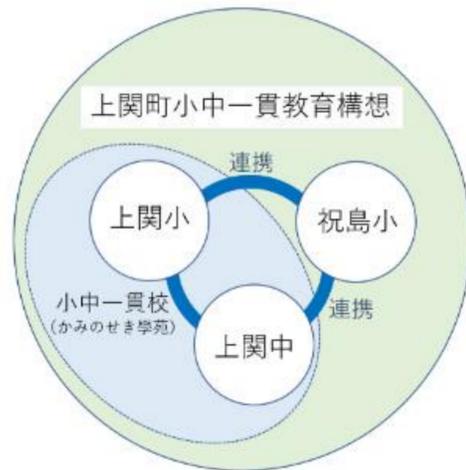
1 上関町の地域連携教育の「成果」と「課題」

【学校教育】

地域・児童・生徒を交えて小中一貫教育のグランドデザインを作成したり、学校・地域連携カリキュラムの見直しを行ったりした。今後は、PDCAサイクルを回し、いかにカリキュラム・マネジメントしていくかが課題である。

【社会教育】

地域協育ネット運営協議会が中心となり、地域主体の体験活動として「磯遊び体験活動」等を行った。一方で、地域協育ネットに関わる人材の発掘や育成、地域協育ネットの周知が課題である。



2 課題解決に向けた重点取組事項

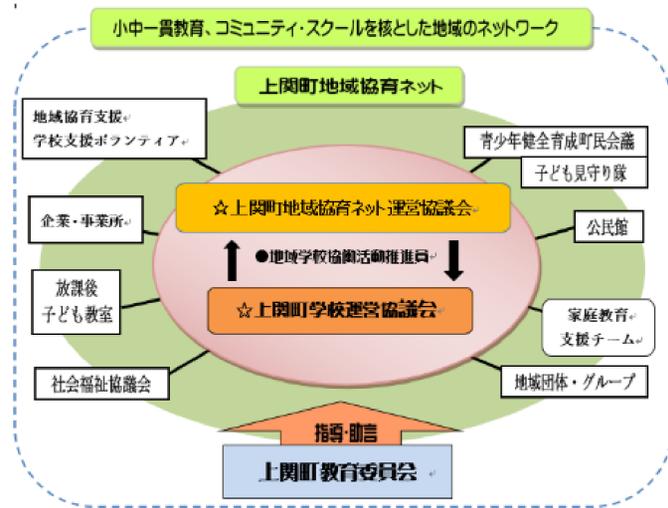
【学校教育】

○ 学校・地域連携カリキュラムを有効に機能させ、教育計画の進行状況を継続的に評価・検証しながら教育課程の改善を図る。

○ 総合的な学習の時間を柱に、学年ごとの単元配列表を作成し、教科横断的で探究的な学びの実現をめざす。

【社会教育】

- 地域の行事やイベントに参加する子どもや保護者の数を増やす。
- 地域協育支援・学校支援ボランティアに登録する人を増やす。



3 重点取組事項の進捗を測る指標

【学校教育】

- 学校・地域連携カリキュラムの評価・改善を全教職員で行った学校の数
- 学年ごとの単元配列表を作成している学校の数

【社会教育】

- 体験活動に参加した地域の方や保護者の人数
- 地域協育支援・学校支援ボランティアの登録者数

活動取組

町立上関小学校 町立上関中学校



小中学校が連携した地域貢献

飼育したクルマエビとマダイの放流の前に、地域の方々と小中学生が協力し、地域の海岸清掃を実施。

町立上関小学校 町立上関中学校



町のお祭りと学苑祭をタイアップ

ふるさと上関の良さを地域の方と探究的に学習し、その成果を「かみのせき学苑祭」で発信。

町立祝島小学校



ユニット型研修会

学校運営協議会委員、地域住民、教職員がユニット型研修会を行い、授業づくりについて協議。

地域協育ネット



地域を生かした体験活動

地域協育ネット運営協議会が主体となり、地域を生かした体験活動として「磯遊び体験活動」を実施。